

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年9月5日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	------------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)たびびと	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所在地	高知市小津町6-4		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和6年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・春休み卓球で遊ぼう ・オカリナ教室(成人)(全5回) ・図書館ボランティア ・本のバザー(夏・冬) ・あそぼうや(全2回) ・電気の不思議 ・空手教室 ・高知城英語ガイド(春・秋 全6回) ・発声&頭の体操 ・あしながバザー ・盲導犬教室 ・けん玉教室 ・将棋大会 ・本の譲渡会 ・SNS事業 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより、青少年の社会性を養うとともにその健全な育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:鉄筋コンクリート5階 延べ1,597.17㎡</p> <p>施設概要:駐車場、駐輪場(1階)</p> <p>事務室、少年サポートセンター(事務室、相談室、面接室)(2階)</p> <p>教育相談研究所(事務室)、小中PTA連合会(事務室)、会議室、共用相談室、音楽スタジオ(3階)</p> <p>まんが図書館、学習室、トークサロン、やまもも(事務室)</p> <p>PRINK思春期相談センター(事務室、相談室等)(4階)</p> <p>多目的室、倉庫(5階)</p>		
職員体制	職員:館長1名 チーフ兼会計1名 事務員5名 アルバイト3名 合計:10名		

2 収支の状況

(単位:円)

		R05年度(決算)	R06年度(決算)	R07年度(予算)
収入	県支出金	21,910,000	22,491,000	22,348,000
	事業費収入	149,725	177,370	179,000
	収入計(a)	22,059,725	22,668,370	22,527,000
支出	事業費	775,075	749,940	874,000
	管理運営費	8,513,226	8,714,316	8,948,000
	人件費	11,860,247	12,118,828	11,505,000
	消費税	1,007,700	1,086,380	1,200,000
	支出計(b)	22,156,248	22,669,464	22,527,000
収支差額(a)-(b)		△ 96,523	△ 1,094	0
使用料収入		1,283,005	1,655,510	1,065,000

3 利用実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
利用者数	25,620	26,782	27,209	35,283	40,855	31,150

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告やX(旧Twitter)、チラシ配布等多様な手段による利用者拡大の取組は大きい評価される。 ・近隣校への直接広報や、老若男女を問わない施設使用の工夫など、利用者拡大のための工夫がなされている。 ・高知城英語ガイドなど新しい企画を実践して利用者拡大に取り組むことができている。 ・利用者の要望を積極的に取り入れ、ニーズに応えようとする取組は評価できる。 ・施設の理念と施設利用者の特徴に配慮した事業を展開してことは評価できる。 ・新たな使用者層を獲得している。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの内容とそれに対する対応・対策について報告書に記載して欲しい。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加とその多様化するニーズに真摯に対応しようとする姿がみられ、サービスの向上が図られていると思われる。 ・年齢別のアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握している。中高生が安心して学習ができる環境を構築している。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が増えていることで満足度が下がったり、不便となっていることについて対策を講じる必要がある。また、防犯面や利用者同士のトラブル防止、職員のストレスが増大しないように留意して対策する必要がある。 ・一方増加し続ける利用者は、施設や職員の容量に過大な負担を与えており、一部ではこのことに起因するサービス低下がみられることは今後の懸念材料である。
③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・右肩上がりでの利用者数の増加を実現している。 ・利用者増加に伴う事務量増加に対し、限られた人員で対応できたことは苦勞が伺える。 ・施設の現状への対応は十分であり、職員各位の献身的な取組で運営されていることがよく伝わってくる。 ・今後、更なる利用者の増加が見込まれることより、大胆な効率化を図る必要があり、その方向性については、今後現場と管理機関等で検討されることが必要である。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数で何とかこなしているが、厳しい状況が続いていると感じる。周辺の学校や高知市の教育機関(補導センター)などの協力を仰ぐことも考慮してはどうか。建物内に入っている他団体の協力は仰げないものか？ ・利用者が増えている、だから職員の負担が増えている、なんとかしてほしい(なんとかしなければ)、という現状報告に焦点をあてていたが、その利用者が何を求めて来館しているのか、その原因や理由について把握・分析して、対策を考える必要がある。それによってはその他の関連施設と情報共有や連携したり、専門的知識や技術を有する方に運営についてアドバイスをもらったり、協働してもらうことも可能性としてはあると思う。 ・領収証の発行、来館者人数や属性の把握がアナログ(前時代的)だと思われる。それによって職員に負担が生じたり、館内に目が行き届かなかつたりする問題が発生していると考え。解決方法はIT機器で対応するか、やり方を工夫するか、の2択だと思うが、自分たちではなかなか解決方法が思い浮かばない、ということであれば、評価委員会委員に見てもらいアドバイスをもらうのも方法かと思う。

④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標数を大幅に上回る実績である。 ・利用者数は年々増加しており、4年前のほぼ2倍となっていることは大いに評価される。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年右肩上がり利用者数が伸びており、市民からのニーズが高いことがうかがえる。今後は、建物のキャパシティやスタッフ人数との関係を考察し、適正な受入人数を検討する時期が来ているとも感じる。 ・経済状況を受けて「無料で滞在できる場所」としてのニーズが高まって来館者が増えており、今後もまだ増える可能性があると考えられる。利用者増加に対応できる運営体制の構築や、利用時間の分散化や制限なども講じる必要があるのではないか。利用人数の制限を講じる場合は近隣の同様施設と連携する必要がありますので、そういった視点をもって日頃から情報交換を行う場を設けてはどうか。
⑤収支の状況	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正に管理されている。
総合評価	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の立地条件や利便性を考えた、良い運営ができていると思う。スタッフ数が少ない状況下で、他の協力やICT化による、業務の選定などを今後も進めて欲しい。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた資源(予算と人員)で利用者増加に対応していると思う。利用者がなぜここに足を運んでくるのか、施設に求めているものはなにか、を常に意識して、取り組む企画の内容について検討しながら実践して欲しい。その際には今までやってきたことをそのまま続けるのではなく、「やり方を変える・任せる・やめる」という抜本的な改革をして欲しい。 ・利用者人数増加という目の前のことに追われると、利用者のニーズ、防犯や災害対応など安全管理、職員のモチベーションやコミュニケーションなど施設の安定的運営や充実発展に必要な要素へのケアがおろそかになる可能性がある。すべてを一度に着手して解決することは難しいため、優先順位や重点的に取り組むことを決めて、確実に解決して欲しい。

- A
- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。